

第5学年2組 外国語科指導案

令和2年12月3日(木)

指導者 加藤 君江

ALT Sean Koopman

- 1 単元名 Welcome to Japan. ～松江の魅力伝えます！！～
(NEW HORIZON Elementary Unit 7)

2 単元の目標

相手が来たいと思えるような松江の魅力伝えるために、松江の行事や食べ物、観光地などについての短い話を聞いて具体的な情報を聞き取ったり、自分が好きな松江に関する事などについて、伝えようとする内容を整理した上で、話したりすることができる。また、自分が伝えたい内容を、例文を参考に音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句を用いて書き写すことができる。

3 言語材料

Welcome to Japan. In (summer), we have (fireworks, a festival). Why do you like ～? We have ～ in … We have [soba/a memorial museum]. It's [delicious/nice]. we, culture, temple, castle, firework, popular, traditional, You can ～.状態・気持ち, 飲食物, 味(sweet, bitter, sour, salty, spicy, soft, hard, delicious), welcome, 松江の行事 (Suigosai festival)

4 関係する学習指導要領における領域別目標

話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順で意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

※本単元は、話すこと(発表)に焦点をおいた単元であるため、本単元における「聞くこと」「書くこと」については、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

5 学習の基盤

(1) 本単元は、日本の四季や文化について伝え合う単元であり、国際理解及び自国理解に関する題材である。本年度よりスタートした学習指導要領の「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」は「外国語やその背景にある文化を社会や世界、他者との関わりに着目して」とある。単に語彙や文法などの知識・技能を身に付けただけでは不十分であり、「文化や社会を理解するとともに、コミュニケーションの目的や場面、状況などを配慮して自分の考えをまとめ、伝え合う」ことが重要であると言われている。単元を創っていく上で他国や自国の文化を知りながら、コミュニケーションを行う目的・場面、状況を指導者が意図して設定して、言語活動を通して、「見方・考え方」を働かせるように指導していきたい。本単元を未来創造科の学習や他教科等の学習と関連させ、教科書をアレンジする。そして、単元のゴールとなる活動では、松江を紹介する姿をビデオに撮り、紹介に使ったカードを中国に送るという設定をする。本来ならば、中国の交流をしている子どもたちが、この松江に来て交流する予定であった。しかし、来ることができないのでリモートやビデオ交換等で交流を行う。残念ながら今年には来ることができないが、相手に「いつか必ず

松江に来たい」と思ってもらうために、「何を」「どのような」言葉で伝えたらよいか考えさせたい。松江の魅力をビデオやカードで伝えることを通して、英語を使って様々な人とつながる経験や充実感を味わわせたい。

(2) 本学年の児童は、3年生から外国語活動の授業を受け、文部科学省の教材例“Let’s Try”を使用し学習してきた。移行期であった2年間、外国語活動の授業を70時間受けてきた児童である。2年間でたくさんの単語や表現に慣れ親しんできている。しかし今年度、数ヶ月は休校等の関係で授業を受けることができず、動画配信でアルファベットの文字の名称を聞いたり書き写したりすることしかできなかった。授業が本格的にスタートしたが、歌やチャンツは控えて、児童同士が離れて会話するなど、コミュニケーション活動が難しい時期もあったので、積み上げがなく十分な力を付けることができていないと、感じているかもしれない。しかし、学年の実態にあわせて教材例を参考にしてアレンジしながら授業を行い、自分の考えや思いを表現する言語活動を位置づけることで、「伝えたい」、「知りたい」という姿が見られ、ペアや少人数での言語活動では積極的に会話をしようとしている。Unit5の場所を尋ねたり答えたりする単元では、「オリジナルマイタウン」を作成して宝物を隠し、その場所まで道案内する活動を行った。自分の思いや考えがこもった「オリジナルマイタウン」だからこそ案内したいという積極的な姿が見られた。しかし、中には全体の前での発表となると声が小さくなり自信をもって話せない児童もいる。既習の英語表現もあわせ、言語材料にじっくり慣れ親しみながら相手に伝えたいと思える活動を通して、伝えることの楽しさを感じられるような活動を行っていくことが必要だと感じている。

(3) 本学年の児童は未来創造科の学習で、松江市の姉妹都市、寧夏省にある銀川小学校の同学年児童とオンライン授業を行う。お互いが自分の住む町の良さを紹介し合う授業である。思いをより高めるために事前の打ち合わせにおいて、交流する児童の学年は同じ学年であることや、数回にわたるビデオのやり取りを行い、1月にオンライン交流授業を行うことを設定した。すでに中国から学校紹介のビデオが届いており、そのビデオを視聴した児童は、松江の魅力を伝えたいという思いに溢れている。そして相手意識、目的意識をしっかりと持ち、未来創造科の学習を進めている。しかし、未来創造科の学習では、ビデオ通訳を介しての学習を行っている。1時間目には、通訳を介さなくても相手に伝えることができるのは英語であることに気付かせ、英語を使う必然性をもたせる。また、中国についてのビデオを授業の中に組み込むことで、常に中国の小学生に松江に来てもらうにはどうしたらよいかなどの目的意識や相手意識をしっかりとせたい。そして、言語活動を授業の中に計画的に繰り返し位置づけ、指導者と児童の英語でのやり取り、児童と児童の英語でのやり取りを十分行うことで、児童は新たな発見をし、自分や他者への理解を深め、自分の考えを広げたり深めたりたしていくことが期待される。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<p><知識>松江の自然や食べ物、場所などに関する語句、Why do you like ~? We have ~ in…。 You can ~. It's ~. などの表現について理解している。</p> <p><技能>松江の自然や食べ物、場所などに関する語句、Why do you like ~? We have ~ in…。 You can ~. It's ~. などをを用いて考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p>	<p>相手が来たいと思えるような松江の魅力を伝えるために、松江の行事や食べ物、観光地などについて、考えや気持ちなどを話している。</p>	<p>相手が来たいと思えるような松江の魅力を伝えるために、松江の行事や食べ物、観光地などについて、考えや気持ちなどを話そうとしている。</p>

7 指導と評価の計画（全8時間）

時	目標◎ 主な活動・【 】	評 価			
		知 技	思 判 表	主 体	評価規準（評価方法）
1	<p>◎テキストの日本の四季や文化などについて、短い話を聞いて、具体的な情報を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国から送られてきたビデオを見直し、単元のゴールと英語で伝える意味を確認し、今後の授業の流れを知る。 <p>○紙面を見て日本の四季や行事の言い方を知る。</p> <p>【Starting Out】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を聞いて場面と話題の順番を考える。 様々な日本の文化に関する英語を知る。 <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTのSmall Talkを聞いて指導者からの質問に答える。 <p>【Let's Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> 松江の四季にあわせた行事を出し合いその英語を言ったり聞いたりする。 <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> Yokoso! の歌を歌う。 <p>【Let's Read and Write】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の四季に関する単語を書き写す。 				<p>本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
2	<p>◎松江の行事について、短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、それがどの四季に行われるか言ったりすることができる。</p> <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> Yokoso! の歌を歌う。 <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> Why do you like winter? のチャンツを言う。 <p>【Small Talk】</p> <p>松江の行事について聞いた後、指導者の質問に答える。</p> <p>【Let's Listen】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他国の国の行事について知る。 <p>【Let's Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで好きな季節や行事を言ったり聞いたりする。 <p>【Let's Read and Write】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事に関する単語を書き写す。 				<p>本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
3	<p>◎松江の自然や景色について、短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、言ったりすることができる。</p> <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> Yokoso! の歌を歌う。 <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宍道湖の話聞いた後、指導者の質問に答える。 <p>【Let's Listen】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国の自然や景色について話しているビデオを見る。 <p>【Let's Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで自然や景色を表す言葉や気持ちを言ったり聞いたりする。 <p>【Let's Read and Write】</p> <ul style="list-style-type: none"> 景色や自然に関する単語を書き写す。 				<p>本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
4 本 時	<p>◎松江の食べ物とその味などについて、短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、言ったりすることができる。</p> <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> Yokoso! の歌を歌う。 <p>【Let's Listen】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界三大料理の話聞く。伝える相手の中華料理は世界三大料理であることを知る。 中国の食べ物のビデオを視聴する。 <p>【Small Talk】 松江の食べ物について話を聞いた後、指導者の質問に答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 松江の食べ物について知っていることを出し合う。 <p>【Let's Try 3】 P67</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べ物や味について話す。 				<p>本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>

	<p>【Let's Watch and Think】 p.63</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食べ物がそれぞれどこの国で人気があるのか、料理と国旗を線で結ぶ。 食べ物とその味などについて、短い話を聞いて、具体的な情報を聞きとったり、言ったりする。 食べ物や味に関する単語を書き写す。 				
5	<p>◎松江の観光地について、短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、言ったりすることができる。</p> <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> Yokoso! の歌を歌う。 <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> Why do you like winter? のチャンツを言う。 <p>【Let's Listen】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> Do you know? を聞き単元のゴールに紹介する内容を考える一助とする。 <p>【Let's Try3】 p.69 アレンジしたものを使用</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの季節にすることやできることを言う。 <p>【Let's Read and Write】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気持ちに関する単語を書き写す。 				<p>本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
6	<p>◎松江の魅力についてどんなものがあるか考えて、それについて気持ちも含めて伝え合うことができる。</p> <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> Yokoso! の歌を歌う。 <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> Why do you like winter? のチャンツを聞き言う。 <p>【small talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT が感じている松江の魅力について話を聞く。 <p>【Let's Try4】 p.69</p> <ul style="list-style-type: none"> 松江にはどんな魅力があるかを考えて、気持ちも含めて伝え合う。 <p>【Let's Read and Write】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光地に関する単語を書き写す。 	発			<p>評価【話すこと（発表）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 松江の行事や食べ物、観光地等に関する語句、Why do you like ~? We have ~ in ... You can ~. It's ~. などの表現について理解している。【知・技】 (行動観察・振り返りカード点検) <p>・松江にはどんな魅力があるかを考えて、気持ちも含めて伝え合う様子を観察し、評価の記録を残す。</p>
7	<p>◎相手が来たいと思えるような松江の魅力を伝えるために、松江の四季や行事、食べ物などにつる。いて、考えや気持ちなどを話そうとする。</p> <p>【Let's Listen】 p.73</p> <ul style="list-style-type: none"> Challenge をアレンジした内容を聞く。 <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の伝えたい内容を考える。今まで学習した内容を参考に、紹介カードを作成する。 <p>【Let's Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成したカードを使い、ペアで松江の紹介を行う練習をする。 <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本文化に関する単語の穴抜きの場所にアルファベットを書く。 	発	発		<p>評価【話すこと（発表）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手が来たいと思えるような松江の魅力を伝えるために、松江の行事や食べ物、観光地などについて、考えや気持ちなどを話している。【思・判・表】 (行動観察・振り返り点検) 相手が来たいと思えるような松江の魅力を伝えるために、松江の行事や食べ物、観光地などについて、考えや気持ちなどを話そうとしている。 【主体】(行動観察・振り返りカード点検)
8	<p>◎相手が来たいと思えるような松江の魅力を伝えるために、松江の四季や行事、食べ物などについて、考えや気持ちなどを話すことができる。</p> <p>【Let's Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成したカードを使い、松江の紹介を行う。グループごとに紹介ビデオを撮る。 <p>【Let's Listen】 p.73</p> <ul style="list-style-type: none"> Over the Horizon「日本のすてき」を聞く。 	発	発		<p>評価【話すこと（発表）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手が来たいと思えるような松江の魅力を伝えるために、松江の行事や食べ物、観光地などについて、考えや気持ちなどを話している。【思・判・表】 (行動観察。振り返り点検) 相手が来たいと燃えるような松江の魅力を伝えるために、松江の行事や食べ物、観光地などについて、考えや気持ちなどを話そうとしている。【主体】 (行動観察・振り返りカード点検) 児童が松江のことを紹介している様子から、評価の記録を残す。第7時で(b)にいたっていないと判断した児童を優先して観察し、改善が見られた場合は記録に修正を加える。

8 本時の学習

(1) 本時の目標

松江の食べ物とその味などについて、短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、言ったりすることができる。

(2) 展開 (4/8)

学習場面と子どもの取り組み	教師の活動・支援
1. 挨拶をする。 2. 既習語のスペル確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 日直をリーダーとして挨拶することで、みんな外国語の授業をスタートする意識を高める。 既習語のスペル確認をする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 松江の食べ物や味などについて言ったり聞いたりしよう。 </div>	
3. 【Let's Sing】 ・Yokoso! の歌を歌う。 4. 【Let's Listen】 ・世界三大料理クイズに答える。 ・Do you know the three best food in the world? ・French, Chinese and Turkish food. 5. ビデオを視聴して、中国の食べ物について知る。中国語と英語の両方を聞く。 6. 【Small Talk】 (K:加藤 S:ALT) K: Sean sensei, what is American food? S: It's a steak. It's a hamburger. It's a hotdog. K: The steak is very delicious. The hamburger is very big. Japanese hamburgers and American hamburgers are different. S: Japanese hamburgers are very small. K: Sean sensei, what Japanese food do you like? S: I like <i>sushi</i> . It's healthy. K: Why do you like sushi? S: It's delicious. K: Sean sensei, what Matsue food do you like? S: I like soba. 7. 【Let's Try】 松江の食べ物について確認したあと、味を表す英語の言い方を確認し、ペアで好きかどうか、なぜかを聞き合う活動を行う。 A: We have Japanese sweets. It's beautiful. Do you like Japanese sweets? B: Yes, I do. I like Japanese sweets. A: Oh! Me, too. Why do you like Japanese sweets? B: It's nice. 松江の食べ物 (soba, sushi, green tea, fish, Seven Wonders など) 味覚 (sweet, bitter, sour, salty, spicy, soft, hard, delicious, など)	<ul style="list-style-type: none"> Why do you like ~? のフレーズに慣れ親しませることにより、本時の学習につなげる。 世界の三大料理の1つが中華料理であることを確かめ、児童の興味を引く。 英語を使えば伝わるということを確認する。また、説明の中から食べ物がどんな味なのか聞いて発表し、次の活動につなげる。 アメリカの食べ物や日本の食べ物を ALT と指導者が言いながらその国によっていろいろな食べ物があることを確認する。 写真を使うことで同じ食べ物でも国によって違うことに気付かせる。また情報量が多く言葉がキャッチできない児童へ視覚的に支援を行う。 Small Talk の途中で児童と会話のやり取りを行いながら個々の好みを聞いたり、児童が答えたことについて、指導者がさらに質問したりすることで、やり取りのモデルを示す。 Do you like hamburgers (sushi)? What Japanese food do you like? Why do you like sushi? 児童が知っている松江の食べ物について、ヒントを出しながら提示することで、食べ物の紹介する方法を考えさせる。 ペアの相手を何度か替えながら、本時のめあてに向かわせる。 途中で活動を止め、わからなかった言葉がなかったかどうか聞き、全体で共有しながら次の活動につなげる。 再度ペアになって英語で聞き合う活動を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>

<p>8. 【Let's Watch and Think】 P67</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食べ物がそれぞれどこの国で人気があるのか、料理と国旗を線で結ぶ。 <p>9. 【Let's Read and Write】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べ物や味覚に関する単語を丁寧に書き写す。 味覚 (sweet, bitter, sour, salty, spicy, soft, hard, delicious, など) <p>10. 振り返りをして挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてにそって振り返りをする。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な食べ物がアレンジされ、世界に広がっていること確認する。 十分音声に慣れ親しんだ文字を書かせる。 高さに気を付けて丁寧に書き写すように促す。 本時のめあてにそって振り返りを行うようにする。単元のゴールに向けた内容や、本時のめあてにそった振り返りを称賛し、松江の魅力が伝わるような紹介カードやビデオが作成できるように促す。
--	---

(3) 本時の評価についての視点

<p>目標が達成されたと判断される状況</p>	<p>努力を要する状況への手立て</p>
<p>We have ～. Do you like ～? Why do you like ～? を使って、松江のいろいろな食べ物について好きかどうか尋ねたり、その理由を It's ～. を使ったりして伝え合っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペアトークの時などに、黒板に掲示しているフレーズや絵カードを活用し、一緒に話すなど支援する。 必要があれば、全体で再度共有する。

9 本単元の8時間目で期待する姿

	十分満足できると判断される児童の姿	おおむね満足と判断される児童の姿	支援を必要とする児童の手立て
<p>思考・判断・表現</p>	<p>相手が「松江に行きたい」という思いをもってもらえるために、自分が伝えたい松江の行事や食べ物、観光地について、松江の魅力が伝わるように工夫したり、さらに説明や質問を加えたりして考えや気持ちを発表している。</p>	<p>相手が「松江に行きたい」という思いをもってもらえるために、自分が伝えたい松江の行事や食べ物、観光地について、松江の魅力が伝わるように工夫して考えや気持ちを発表している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝えるためにはどのような内容を伝えたら良いか、どうしたらより伝わるか、具体を示しながら一緒に言ったり、考えたりしながら発表ができるようにする。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>相手が「松江に行きたい」という思いをもってもらえるために、自分が伝えたい松江の行事や食べ物、観光地について、松江の魅力が伝わるように工夫したり、さらに説明や質問を加えたりして考えや気持ちを発表しようとしている。</p>	<p>相手が「松江に行きたい」という思いをもってもらえるために、自分が伝えたい松江の行事や食べ物、観光地について、松江の魅力が伝わるように工夫して考えや気持ちを発表しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個別に自分の言いたいことや伝えたいことを練習する。 カードに書いてある文字を見ながらでも発表してよいことを伝え、自分の考えや気持ちを安心して伝えられるようにする。

10 本単元の8時間目で期待される紹介例

<p>We have many festivals. Do you like festivals? We have <u>suigosai</u> festival in summer. You can see fireworks. It's beautiful. I like <u>suigosai</u> festival. Matsue is a wonderful city!</p>
